



みそ汁づくりにイカす！

番組のストーリーから

『外国から来る友達に、味噌汁をご馳走したいと考えるえんどう』

ご飯とみそ汁の調理が学習指導要領において題材指定されている意味を、教師と児童が理解し知識や技能の習得だけでなく、和食や自分の食生活を大切にする心を育むきっかけとなるようにすることが大切です。家族のために味噌汁をつくって喜ばれる経験をした児童は、きっと外国の方に味噌汁をつくってあげたいと思うことができると期待しています。

『無事に美味しい味噌汁をつくることができたえんどう』

『家族に味噌汁をつくって喜ばれる溝田君』

えんどう、溝田君どちらも満足そうです。家庭科を学習する子どもたちにもこんな笑顔になってもらいたいと思います。番組を観て味噌汁づくりに期待と意欲が高まっている児童の思いを言葉にさせることで、学習のめあてや願いのある学習が展開できます。

資料コンテンツから

『だし』

いくつもの出汁の種類を知ることで「他にはないかな」と話題を広げることができます。プロの仕事ぶりからは、自分もやってみたいと意欲が高まることでしょう。

『味噌の香り』

煮立たせてはいけないことは分かっているけど「なぜ？」と児童に質問されて上手に答えられなかったという経験がある先生も……。映像と専門家の解説で児童は納得することでしょう。実際の調理に生かされることを期待しています。